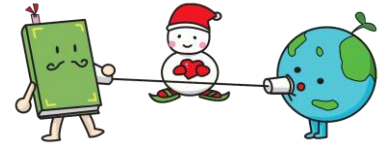


学習課題(小学校5年生)



【理科】

<学習内容>「流れる水のはたらき」

◆「わたしたちのくらしと災害」「川の観察」（教科書 86～91 ページ）について、取組シートやノートにまとめましょう。

(1) 雨が降り続いたり、台風などで大雨が降ったりすると、川の水がふえます。川の水による災害から生命を守るために何ができるか考えましょう。

①教科書 86 ページの二つの絵を見て、川の水が増えるとそれぞれどのような危険がありそうだと考えられるか、教科書 87 ページの写真を参考にしましょう。

※「どのような場所に」「どのような危険が」ありそうかな。

(2) 右の写真のように、札幌市を流れる豊平川でも過去に川のはんらんが起きたことがあります。



①自分たちが住んでいる地域では、大雨によって川の水が増えたとき、どのような災害が起こると考えられますか。

②自分が住んでいる地域では、川の水による災害を防ぐために、どのような工夫がされているか本やインターネットなどを使って調べ、絵や言葉でかきましょう。

※^{ごが}護岸工事、河せんじき、放水路、ダム建設、ブロックなど、どんな備えがありそうかな。

【動画を参考にみるのもよいでしょう】

NHK for School「川とつきあう」

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/bangumi.cgi?das_id=D0005110052_00000



<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、川の水による災害から生命を守るために、自分たちのできることを考えることを大切にしています。
- ・可能であれば、流れている川の様子について実際に観察する活動をしてください。その際には、保護者の方と安全を十分に確認した上で、観察を行うようにしてください。
- ・（参考）札幌市各区の洪水ハザードマップはこちらからご覧になれます。→

https://www.city.sapporo.jp/kikikanri/higoro/fuusui/ssh_map.html

